

Oneグローバル最適化バランス (安定型) / (成長型) <ラップ向け>

追加型投信 / 内外 / 資産複合

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主としてマザーファンドへの投資を通じて、実質的に国内外の株式、公社債および不動産投資信託証券に投資し、ファンドごとに目標とするリスク水準（標準偏差）を設定することで、信託財産の成長を図ることを目的として、運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2023年3月15日～2023年10月12日

第1期		決算日：2023年10月12日	
第1期末（2023年10月12日）			
		（安定型）	（成長型）
基準価額		9,895円	11,486円
純資産総額		237百万円	943百万円
第1期	騰落率	△1.1%	14.9%
	分配金合計	0円	0円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
(注2) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

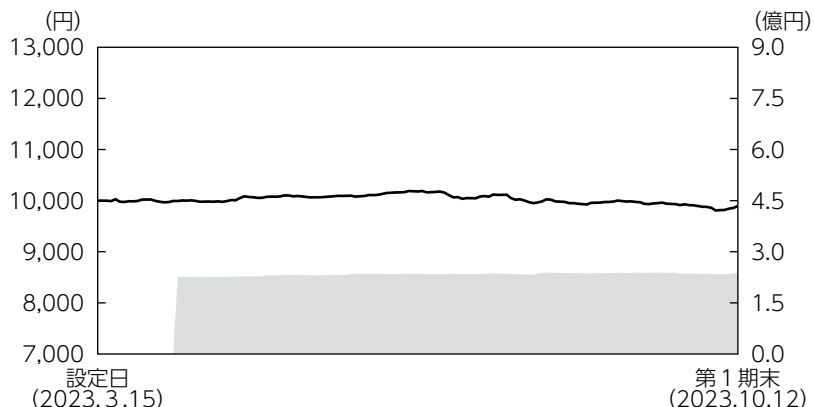
アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <https://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

Oneグローバル最適化バランス（安定型）＜ラップ向け＞

基準価額等の推移



設定日： 10,000円
 第1期末： 9,895円
 (既払分配金0円)
 騰落率： △1.1%
 (分配金再投資ベース)

(注) 設定日の基準価額は、設定当初の金額です。

■ 純資産総額 (右軸) — 基準価額 (左軸) - - 分配金再投資基準価額 (左軸)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 基準価額は、設定日前日を10,000円として計算しています。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、設定日前日を10,000円として指数化しています。
- (注5) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

国内外の金融政策の方向性の違い等が意識され主要通貨に対して円安となったこと、良好な企業決算や欧米投資家による日本株買いから国内株式が上昇したこと等はプラスに寄与しました。一方、インフレの抑制を目的とした主要国の金融引き締め等から多くの国で長期金利が上昇（債券価格は下落）したこと等がマイナスに寄与し、基準価額は下落しました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第 1 期		項目の概要
	(2023年3月15日 ～2023年10月12日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	29円	0.287%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,022円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(27)	(0.265)	
(販売会社)	(1)	(0.006)	
(受託会社)	(2)	(0.016)	
(b) 売買委託手数料	0	0.000	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有効証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(0)	(0.000)	
(先物・オプション)	(0)	(0.000)	
(c) その他費用	1	0.005	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
(保管費用)	(0)	(0.003)	
(監査費用)	(0)	(0.002)	
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	29	0.293	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

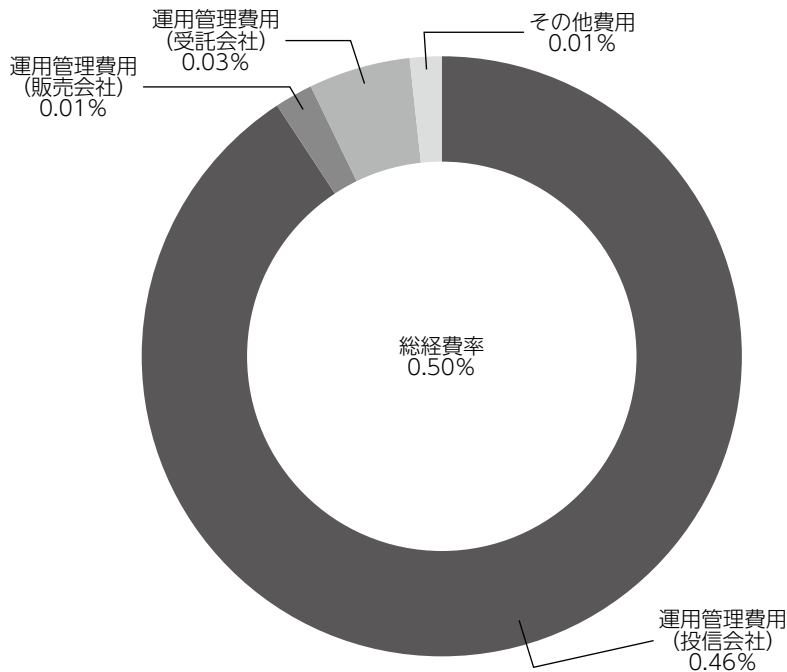
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.50%です。



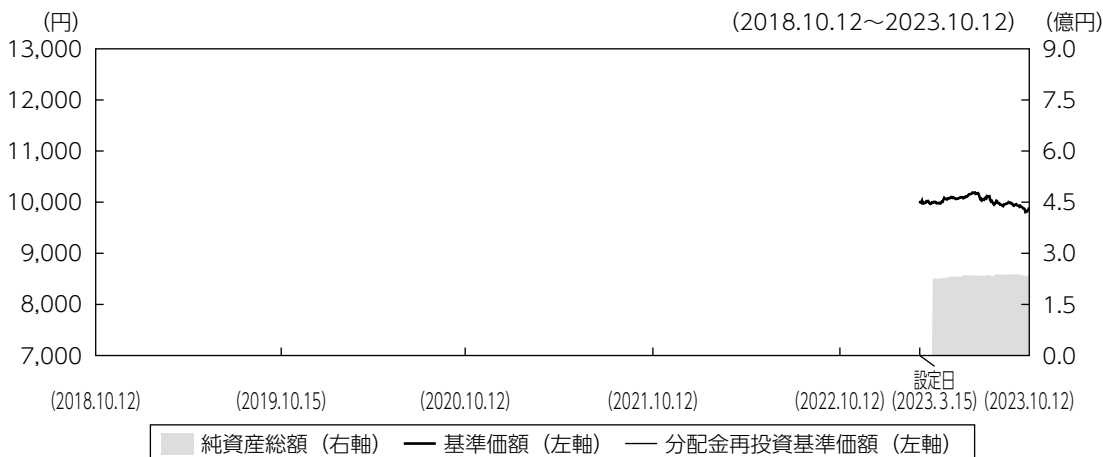
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



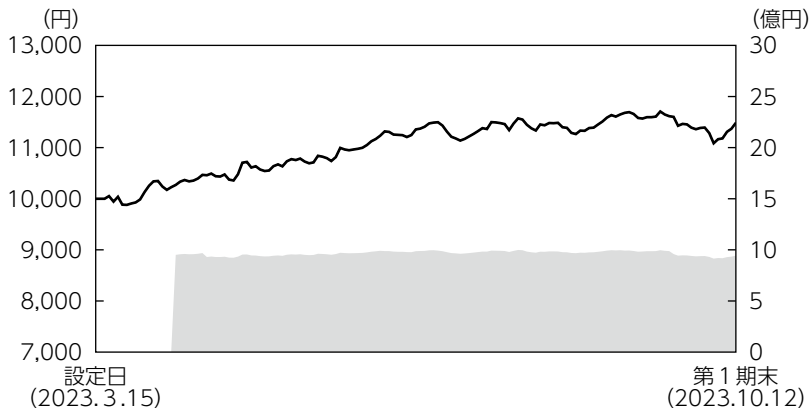
- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、設定日前日を10,000として指数化しています。

	2023年3月15日 設定日	2023年10月12日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	10,000	9,895
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△1.1
純資産総額 (百万円)	1	237

- (注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。
- (注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を定めておりません。

Oneグローバル最適化バランス（成長型）＜ラップ向け＞

基準価額等の推移



設定日： 10,000円
 第1期末： 11,486円
 (既払分配金0円)
 騰落率： 14.9%
 (分配金再投資ベース)

(注) 設定日の基準価額は、設定当初の金額です。

■ 純資産総額 (右軸) — 基準価額 (左軸) - - 分配金再投資基準価額 (左軸)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、設定日前日を10,000として指数化しています。
- (注5) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

インフレの抑制を目的とした主要国の金融引き締め等から多くの国で長期金利が上昇（債券価格は下落）したこと等がマイナスに寄与しました。一方、金融政策の方向性の違いが意識されたこと等から主要通貨に対して円安となったこと、企業決算が概ね良好な結果となったことや米国の底堅い景況感等から国内外の株式市場や外国リート市場が上昇したこと等がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第1期		項目の概要
	(2023年3月15日 ～2023年10月12日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	32円	0.287%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11,018円です。
(投信会社)	(29)	(0.265)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(1)	(0.006)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.003	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(0)	(0.001)	
(先物・オプション)	(0)	(0.001)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)	
(投資証券)	(0)	(0.001)	
(c) 有価証券取引税	1	0.008	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(1)	(0.005)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)	
(投資証券)	(0)	(0.002)	
(d) その他費用	2	0.016	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.012)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.002)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	35	0.315	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

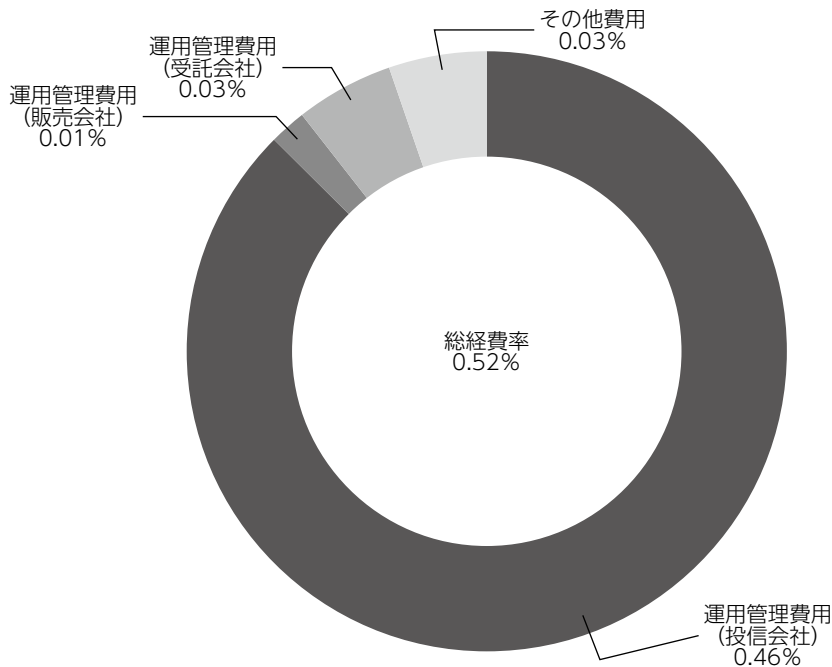
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.52%です。



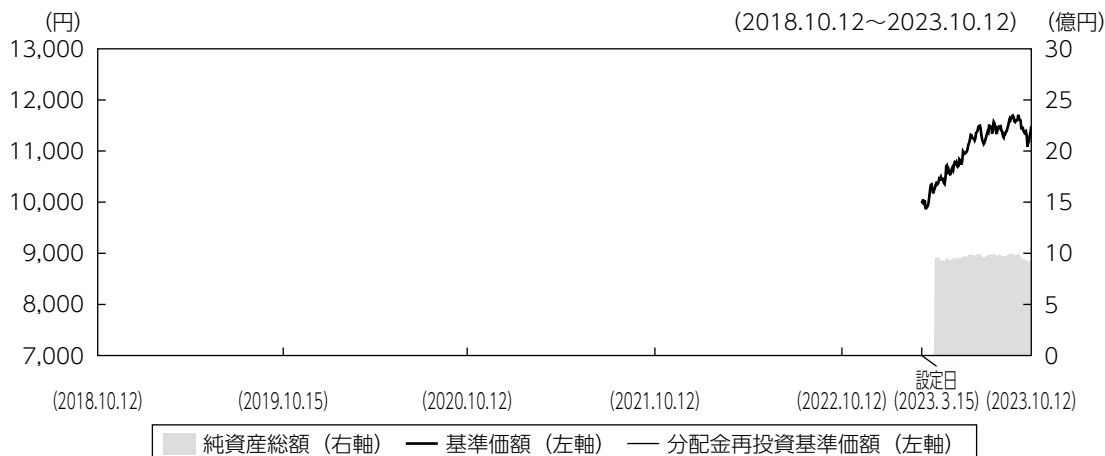
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、設定日前日を10,000として指数化しています。

	2023年3月15日 設定日	2023年10月12日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	10,000	11,486
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	14.9
純資産総額 (百万円)	1	943

- (注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。
- (注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を定めておりません。

投資環境

国内株式市場は、期初から2023年9月半ばまでは、円安米ドル高の進行、日銀の金融緩和姿勢継続、好調な企業決算や欧米投資家による積極的な日本株買いなどを要因として大きく上昇しました。期末にかけては、米国での金融引き締め長期化や米政府機関の一部閉鎖の懸念などが重荷となり、軟調な展開となりました。

国内債券市場は下落（利回りは上昇）しました。期初から2023年7月にかけて、日銀が金融政策の現状維持を決めたことや金融政策修正を巡る思惑などから、国内債券市場はもみ合いの展開となりました。7月以降は、日銀が長短金利操作の運用柔軟化を決めたことを受けて、利回りは上昇しました。

先進国株式市場は上昇しました。米国株式市場では地方銀行の破綻に伴う金融不安から調整する場面も見られましたが、米CPI（消費者物価指数）の伸び鈍化に伴い、利上げペースの緩和期待などを背景に上昇しました。欧州株式市場では欧州の金利上昇などにより上値の重い展開となる場面も見られましたが、中国の景気刺激策への期待感や欧州の景況感改善期待などにより一部市場を除き上昇しました。

先進国債券市場では、米国債およびドイツ国債の利回りはともに上昇しました。米国債は、2023年5月中旬までは米銀破綻による金融機関への懸念などを巡り上下しました。8月以降は米金融引き締めの長期化観測などから利回りは上昇しました。ドイツ国債についても、インフレ抑制のためECB（欧州中央銀行）が金融引き締めを継続したことなどを受けて利回りは上昇しました。

新興国株式市場は上昇しました。不動産市況の悪化が景気に悪影響を及ぼすことが懸念された中国が下落しましたが、新興財閥の不正会計疑惑が沈静化したインドや利下げ期待などからブラジルが上昇しました。

新興国債券市場は下落しました。期初から2023年5月中旬までは米銀破綻による金融機関への懸念などを巡り上下しました。5月下旬から米政府の債務上限の適用を停止する法案の成立を受け、リスク選好が改善したことで一時上昇したものの、8月以降は米金融引き締めの長期化観測などから米長期国債が下落したことに連れて下落しました。対米国債スプレッド（利回り格差）は横ばいでした。5月下旬以降、リスク選好の改善に伴い縮小した後、米金融引き締めの長期化観測などで拡大しました。

国内リート市場は上昇しました。期初は米銀行の相次ぐ経営破綻やスイス金融大手の経営不安を背景としたリスク回避傾向の強まりから下落する局面もありましたが、相対的に高い分配金利回りに着目した資金流入などが相場の支えとなり値を戻しました。その後は米国の金融引き締めペースや日銀による政策修正を巡る思惑などから方向感に乏しい展開が続きました。

先進国リート市場は下落しました。米国リート市場は前半ばに米CPIの伸び鈍化からFRB（米連邦準備理事会）の利上げ継続観測が後退し上昇しましたが、期末にはFOMC（米連邦公開市場委員会）で高金利長期化が示唆され下落しました。欧州リート市場は前半ばにBOE（イングランド銀行）が利上げ幅を再拡大したことなどを背景に下落しました。オーストラリアリート市場は期末にかけて同国の長期金利が米国金利に連れ高したことで下落しました。

為替市場では主要通貨に対して円安の動きとなりました。米ドル／円相場は、内外金利差の拡大や内外の金融政策の方向性の違いが意識されたこと等を背景に円安米ドル高基調の動きとなりました。その他の主要通貨においても、内外金利差の拡大や金融政策の方向性の違いが意識されたこと等を背景に概ね円安現地通貨高となりました。

ポートフォリオについて

各ファンドは、マザーファンドを通じて国内外の株式、債券およびリートに投資を行いました。また、以下の基本配分比率に基づき、各マザーファンドの組入れを行い、先進国株式についてはその一部または全部の為替ヘッジを行いました。

○基本配分比率（2023年10月12日現在）

資産クラス	(安定型)	(成長型)
国内株式	3.0%	17.0%
国内債券	74.0%	—
先進国株式（除く日本）	—	27.0%
先進国債券（除く日本）	8.0%	18.0%
先進国債券（除く日本、ヘッジあり）	11.0%	—
新興国株式	—	4.0%
新興国債券	4.0%	4.0%
国内リート	—	13.0%
先進国リート（除く日本）	—	17.0%

(注1) 実質組入外貨建資産の一部について、対円での為替ヘッジを行います。

(注2) 比率は各ファンドの純資産総額に対する実質投資割合です。

○組入ファンドの当作成期間の騰落率および期末時点の組入比率

主な投資対象	組入ファンド	騰落率	組入比率	
			(安定型)	(成長型)
国内株式	国内株式パッシブ・ファンド（最適化法）・マザーファンド	23.1%	3.1%	17.1%
国内債券	国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	△2.7%	73.8%	0.0%
先進国株式	外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド	24.9%	0.0%	27.3%
先進国債券	外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	8.2%	8.1%	17.6%
	為替フルヘッジ外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	△5.6%	11.1%	0.0%
新興国株式	エマージング株式パッシブ・マザーファンド	13.3%	0.0%	4.0%
新興国債券	エマージング債券パッシブ・マザーファンド	8.6%	4.0%	4.0%
国内リート	J-R E I Tインデックスファンド・マザーファンド	3.8%	0.0%	12.9%
先進国リート	外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド	9.3%	0.0%	17.2%

(注) 組入比率は実質的に組入れている有価証券の評価額に対する割合です。

各組入ファンドはベンチマークのリスク特性に概ね一致したポートフォリオを構築しました。

○組入ファンドのベンチマーク

組入ファンド	ベンチマーク
国内株式パッシブ・ファンド（最適化法）・マザーファンド	東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	NOMURA-BPI総合
外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド	MSCIコクサイ・インデックス（円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし）
外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース、為替ヘッジなし）
為替フルヘッジ外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース、為替ヘッジあり）
エマージング株式パッシブ・マザーファンド	MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし）
エマージング債券パッシブ・マザーファンド	JPMorgan・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円換算ベース、為替ヘッジなし）
J-R E I Tインデックスファンド・マザーファンド	東証R E I T指数（配当込み）
外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド	S&P 先進国 R E I Tインデックス（除く日本、円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし）

分配金

当期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、各ファンドとも無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期	
	(安定型)	(成長型)
当期分配金（税引前）	－円	－円
対基準価額比率	－%	－%
当期の収益	－円	－円
当期の収益以外	－円	－円
翌期繰越分配対象額	43円	1,485円

- (注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。
- (注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。
- (注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

各ファンドでは、各資産の保有比率が基本配分比率に維持されるように各マザーファンドへの投資を実施します。マザーファンドの組入比率につきましては、高位組入れを維持します。

各組入ファンドは、引き続きベンチマークに連動する投資成果を目標としたパッシブ運用を行います。

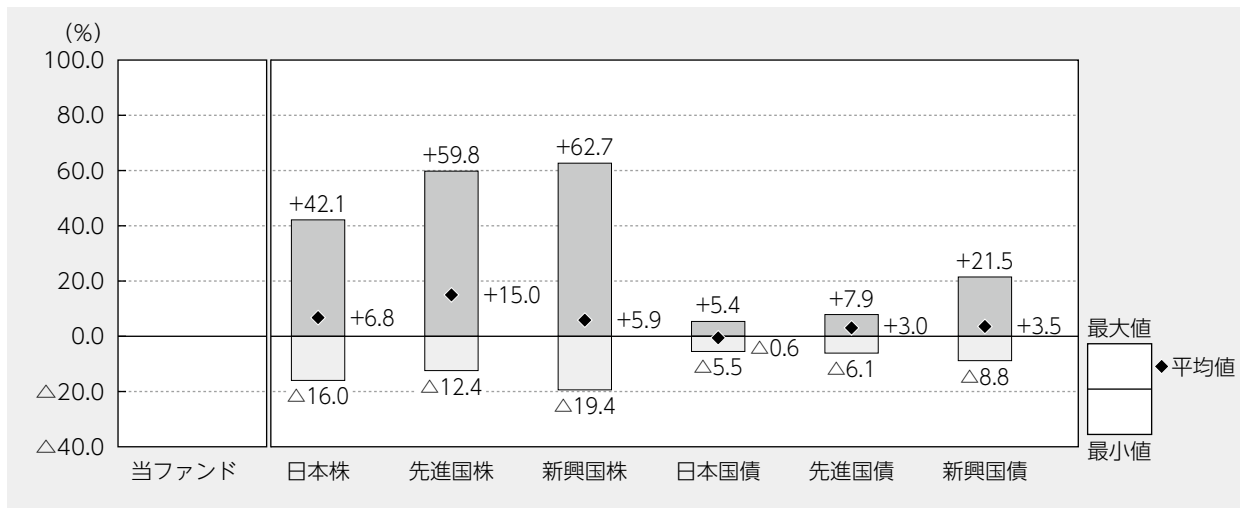
当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2023年3月15日から無期限です。	
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として、運用を行います。	
主要投資対象	ベビーファンド*	以下のマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、「D I AMマネーマザーファンド」受益証券や短期金融資産等に直接投資する場合もあります。
	国内株式パッシブ・ファンド(最適化法)・マザーファンド	わが国の金融商品取引所上場株式のうち、東証株価指数に採用されている(または採用予定の)銘柄を主要投資対象とします。
	国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	わが国の公社債を主要投資対象とします。
	外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド	海外の株式を主要投資対象とします。
	外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	海外の公社債を主要投資対象とします。
	為替フルヘッジ外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	海外の公社債を主要投資対象とします。
	エマージング株式パッシブ・マザーファンド	海外の証券取引所に上場している株式*を主要投資対象とします。 *D R (預託証券) もしくは株式と同等の投資効果が得られる権利を表示する証券および証書等を含みます。
	エマージング債券パッシブ・マザーファンド	新興国の公社債を主要投資対象とします。
	J-R E I Tインデックスファンド・マザーファンド	東京証券取引所に上場し、東証R E I T指数に採用されている(または採用予定の)不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
	外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド	日本を除く世界各国の不動産投資信託証券*を主要投資対象とします。 *海外の証券取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている不動産投資信託証券とします。
運用方法	<p>ファンドごとに目標とするリスク水準(標準偏差)*1、*2を設定します。</p> <p>*1 各ファンドが目標とするリスク水準(標準偏差)とは、ファンドの月次収益率の標準偏差(年率)のめどを指し、各ファンドにおける保有資産比率を決定する際の目標値として使用します。このため各ファンドの実際のリスク水準が目標リスク水準を上回る場合や下回る場合があります。</p> <p>*2 標準偏差とは、リターンのおぼつき度合いを定量的に表したものです。標準偏差の値が大きいほど、価格変動の幅が大きく、リスクが高いとされ、逆に値が小さいほど、価格変動の幅が狭く、リスクは小さいとされます。</p> <p>主として、マザーファンドへの投資を通じて、実質的に国内外の株式、公社債および不動産投資信託証券に投資します。</p> <p>*各マザーファンドは各資産クラスの代表的な指数(インデックス)に連動した投資成果をめざして運用を行います。</p> <p>*実質的に国内株式、国内債券、先進国株式、先進国債券(除く日本)、先進国債券(除く日本、ヘッジあり)、新興国株式、新興国債券、国内リート、先進国リート(除く日本)へ投資します。また、「D I AMマネーマザーファンド」および短期金融資産等に直接投資する場合もあります(以下および「D I AMマネーマザーファンド」を総称して「マザーファンド」あるいは個別に「各マザーファンド」といいます。)</p> <p>実質組入外貨建資産の一部について、対円での為替ヘッジを行います。</p> <p>*実質組入外貨建資産のうち、先進国株式については、各ファンドにおいて対円での為替ヘッジを行うことがあります。なお、一部の通貨については委託会社がその通貨との相関が高いと判断する通貨を用いて、円に対する為替ヘッジを行う「代替ヘッジ」を行うことがあります。</p> <p>*実質組入外貨建資産のうち、先進国債券については、為替フルヘッジ外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンドへの投資を通じて対円での為替ヘッジを行います。</p> <p>各ファンドごとに目標とするリスク水準に応じて、各資産別の投資比率を決定します。</p> <p>*各ファンドにおける資産別の投資比率は、各資産に期待される収益率や過去一定期間における資産価格変動性(標準偏差)等、客観的に入手しうるデータに基づき、最適化計算(目標リスク水準に対してリターンが最大化されるような投資比率を求めた計算)を行い定量的に算出し、決定され、この投資比率に基づき、各マザーファンドへの投資を行いポートフォリオを構築します。投資比率の決定は原則として年2回行います。なお、一部のマザーファンドへの投資配分比率がゼロとなる場合があります。</p> <p>*各資産への投資比率の決定にあたっては、みずほ第一フィナンシャルテクノロジー株式会社から投資助言を受けます。</p>	
分配方針	<p>決算日(原則として10月12日。休業日の場合は翌営業日。)、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益(マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額(以下「みなし配当等収益」といいます。))を含みます。)および売買益(評実益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額)等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。</p>	

*ベビーファンドとは、Oneグローバル最適化バランス(安定型) <ラップ向け>、Oneグローバル最適化バランス(成長型) <ラップ向け>です。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較

Oneグローバル最適化バランス（安定型）＜ラップ向け＞



当ファンド：2023年9月末現在、設定後1年を経過していないため、データはありません。

代表的な資産クラス：2018年10月～2023年9月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株……MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……NOMURA-BPI国債

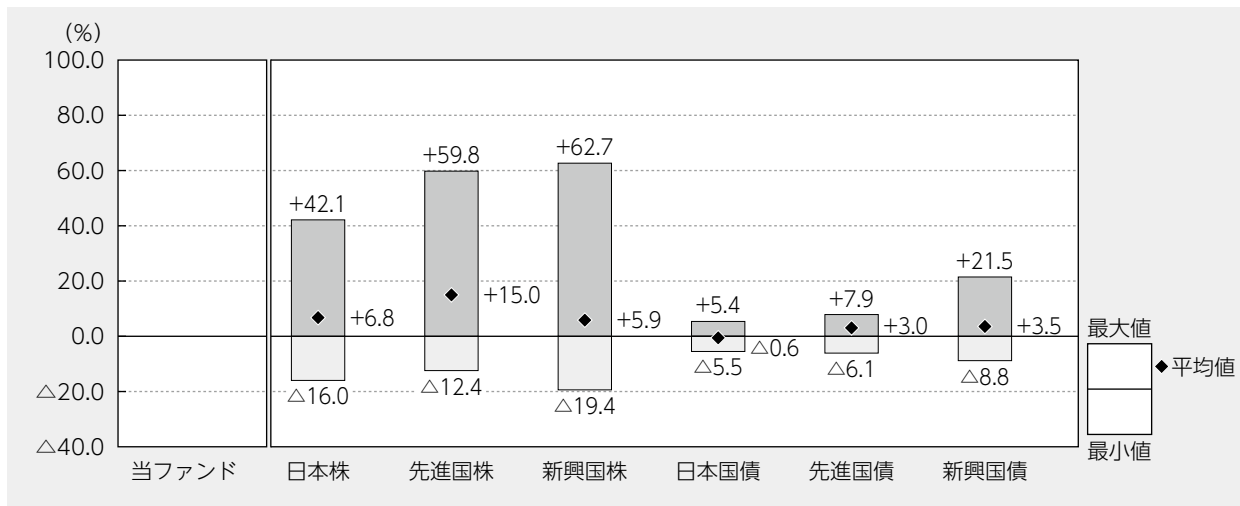
先進国債……FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド（円ベース）

（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞をご参照ください。

Oneグローバル最適化バランス（成長型）＜ラップ向け＞



当ファンド : 2023年9月末現在、設定後1年を経過していないため、データはありません。
 代表的な資産クラス : 2018年10月～2023年9月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

*各資産クラスの指数

- 日本株…東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
 - 先進国株…MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
 - 新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
 - 日本国債…NOMURA-BPI国債
 - 先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
 - 新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド（円ベース）
- (注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2023年10月12日現在）

Oneグローバル最適化バランス（安定型）＜ラップ向け＞

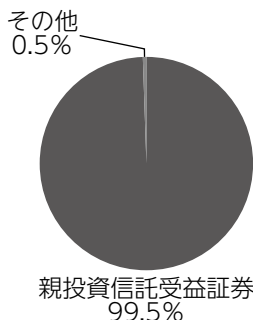
◆組入ファンド等（組入ファンド数：5ファンド）

	当期末
	2023年10月12日
国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	73.4%
為替フルヘッジ外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	11.0
外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	8.0
エマージング債券パッシブ・マザーファンド	4.0
国内株式パッシブ・ファンド（最適化法）・マザーファンド	3.0
その他	0.6

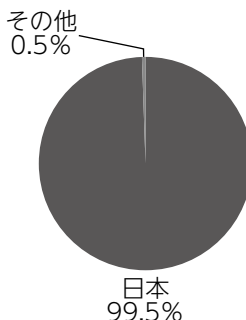
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他に含めて表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

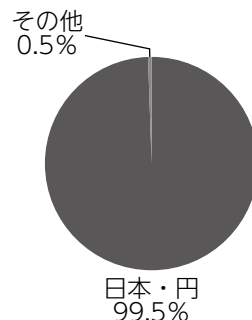
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。

純資産等

項目	当期末
	2023年10月12日
純資産総額	237,548,336円
受益権総口数	240,068,272口
1万口当たり基準価額	9,895円

（注）当期中における追加設定元本額は250,259,415円、同解約元本額は11,191,143円です。

組入ファンドの概要については、19ページ以降をご覧ください。

Oneグローバル最適化バランス（成長型）＜ラップ向け＞

◆組入ファンド等

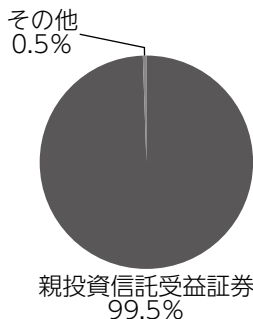
（組入ファンド数：7ファンド）

	当期末
	2023年10月12日
外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド	27.2%
外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	17.5
外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド	17.1
国内株式パッシブ・ファンド（最適化法）・マザーファンド	17.0
J-R E I Tインデックスファンド・マザーファンド	12.8
エマージング株式パッシブ・マザーファンド	4.0
エマージング債券パッシブ・マザーファンド	3.9
その他	0.5

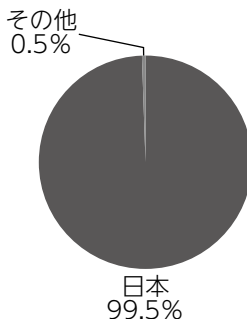
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他を含めて表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

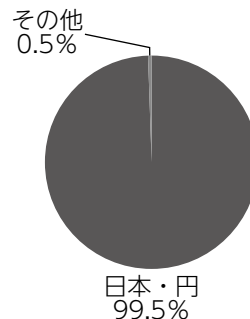
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。

純資産等

項目	当期末
	2023年10月12日
純資産総額	943,223,322円
受益権総口数	821,200,179口
1万口当たり基準価額	11,486円

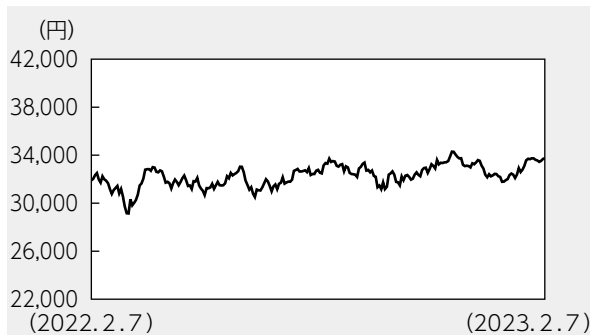
（注）当期中における追加設定元本額は936,507,273円、同解約元本額は116,307,094円です。

組入ファンドの概要については、19ページ以降をご覧ください。

組入ファンドの概要

【国内株式パッシブ・ファンド（最適化法）・マザーファンド】（計算期間 2022年2月8日～2023年2月7日）

◆基準価額の推移



◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	0円 (0)	0.001% (0.000)
(先物・オプション)	(0)	(0.001)
(b) その他費用 (その他)	0 (0)	0.000 (0.000)
合計	0	0.001

期中の平均基準価額は32,278円です。

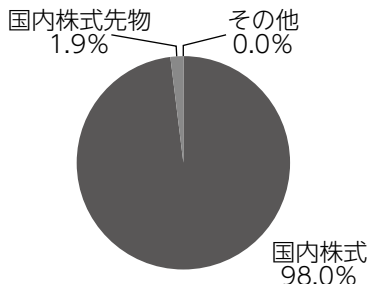
◆組入上位10銘柄（現物）

銘柄名	通貨	比率
トヨタ自動車	日本・円	3.6%
ソニーグループ	日本・円	2.9
キーエンス	日本・円	2.1
三菱UFJフィナンシャル・グループ	日本・円	2.0
日本電信電話	日本・円	1.7
三井住友フィナンシャルグループ	日本・円	1.4
武田薬品工業	日本・円	1.3
ソフトバンクグループ	日本・円	1.2
第一三共	日本・円	1.2
任天堂	日本・円	1.2
組入銘柄数	2,161銘柄	

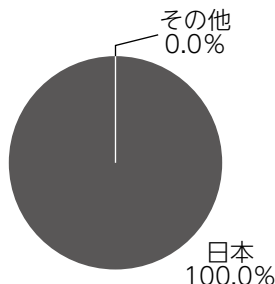
◆組入上位銘柄（先物）

銘柄名	売買	比率
TOPIX 先物	買建	1.9%
組入銘柄数	1銘柄	

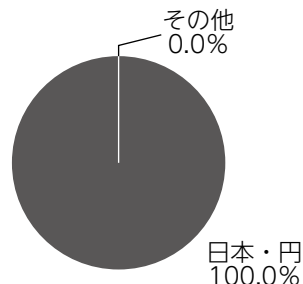
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分、通貨別配分については、現物と先物の比率を合計して表示しています。

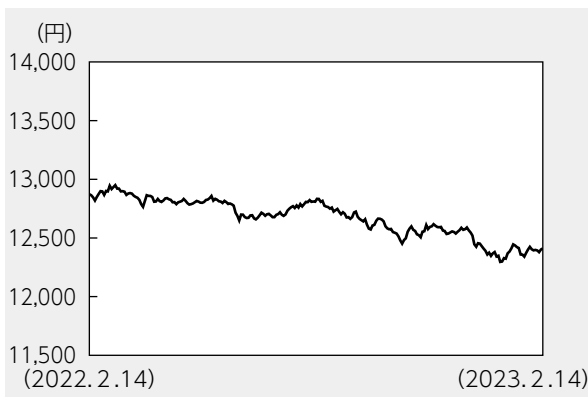
(注6) その他は、純資産総額を100%として、現物と先物の比率を差し引いたものです。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド】

(計算期間 2022年2月15日～2023年2月14日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

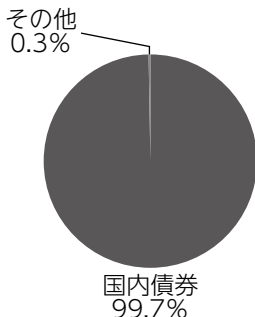
銘柄名	通貨	比率
140回 利付国庫債券(5年)	日本・円	1.3%
436回 利付国庫債券(2年)	日本・円	1.1
345回 利付国庫債券(10年)	日本・円	1.1
339回 利付国庫債券(10年)	日本・円	1.1
144回 利付国庫債券(5年)	日本・円	1.1
350回 利付国庫債券(10年)	日本・円	1.1
344回 利付国庫債券(10年)	日本・円	1.0
338回 利付国庫債券(10年)	日本・円	1.0
153回 利付国庫債券(5年)	日本・円	1.0
364回 利付国庫債券(10年)	日本・円	0.9
組入銘柄数	711銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

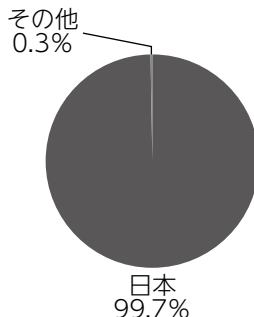
項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (その他)	0円 (0)	0.000% (0.000)
合計	0	0.000

期中の平均基準価額は12,671円です。

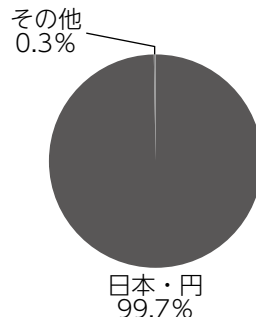
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

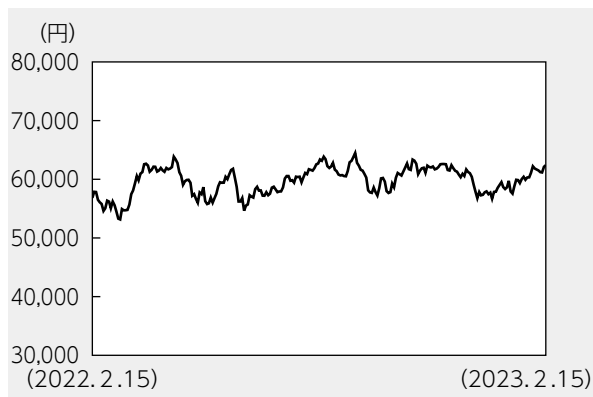
(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注6) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド】

(計算期間 2022年2月16日～2023年2月15日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄（現物）

銘柄名	通貨	比率
APPLE INC	アメリカ・ドル	4.8%
MICROSOFT CORP	アメリカ・ドル	3.7
AMAZON.COM INC	アメリカ・ドル	1.8
NVIDIA CORP	アメリカ・ドル	1.1
ALPHABET INC-CL A	アメリカ・ドル	1.1
TESLA INC	アメリカ・ドル	1.1
ALPHABET INC-CL C	アメリカ・ドル	1.0
EXXON MOBIL CORP	アメリカ・ドル	0.9
UNITEDHEALTH GROUP INC	アメリカ・ドル	0.9
JOHNSON & JOHNSON	アメリカ・ドル	0.8
組入銘柄数	1,270銘柄	

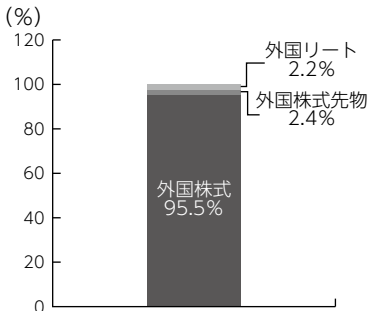
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	2円	0.003%
(株式)	(1)	(0.002)
(先物・オプション)	(1)	(0.001)
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)
(投資証券)	(0)	(0.000)
(b) 有価証券取引税	8	0.014
(株式)	(8)	(0.014)
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)
(投資証券)	(0)	(0.000)
(c) その他費用	13	0.022
(保管費用)	(8)	(0.014)
(その他)	(5)	(0.008)
合計	23	0.038
期中の平均基準価額は59,696円です。		

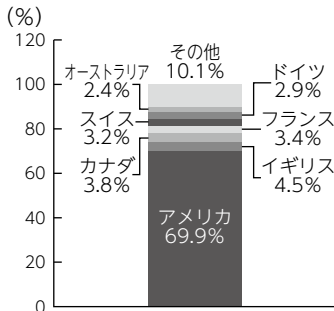
◆組入上位銘柄（先物）

銘柄名	売買	比率
S&P500 EMINI FUT	買建	1.7%
DJ EURO STOXX 50	買建	0.4
FTSE 100 INDEX FUTURE	買建	0.1
S&P/TSE 60 IX FUT	買建	0.1
SPI 200 FUTURES	買建	0.1
組入銘柄数	5銘柄	

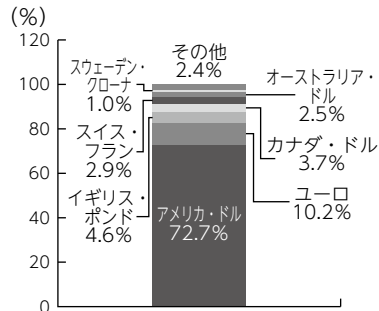
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注6) 資産別配分、国別配分、通貨別配分については、現金等を考慮しておりません。

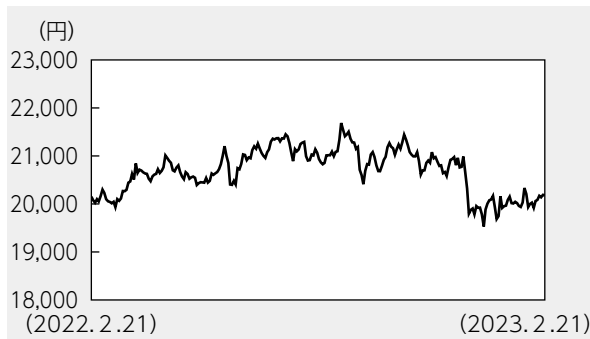
(注7) 国別配分は発行国（地域）を表示しています。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド】

(計算期間 2022年2月22日～2023年2月21日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

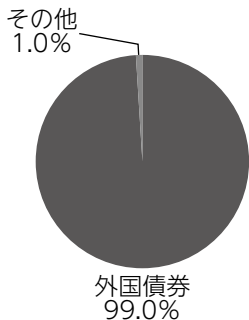
銘柄名	通貨	比率
US T N/B 1.625 05/15/31	アメリカ・ドル	0.6%
US T N/B 0.25 05/15/24	アメリカ・ドル	0.5
US T N/B 0.875 11/15/30	アメリカ・ドル	0.5
US T N/B 1.25 08/15/31	アメリカ・ドル	0.5
US T N/B 1.375 11/15/31	アメリカ・ドル	0.5
US T N/B 1.125 02/15/31	アメリカ・ドル	0.5
US T N/B 1.875 02/15/32	アメリカ・ドル	0.4
US T N/B 2.875 05/15/32	アメリカ・ドル	0.4
US T N/B 2.75 08/15/32	アメリカ・ドル	0.4
US T N/B 0.625 08/15/30	アメリカ・ドル	0.4
組入銘柄数	895銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

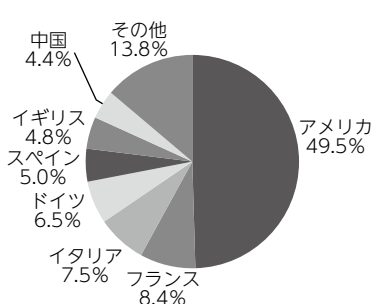
項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	3円	0.016%
(その他)	(3)	(0.015)
	(0)	(0.000)
合計	3	0.016

期中の平均基準価額は20,688円です。

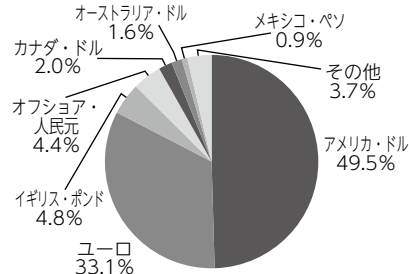
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

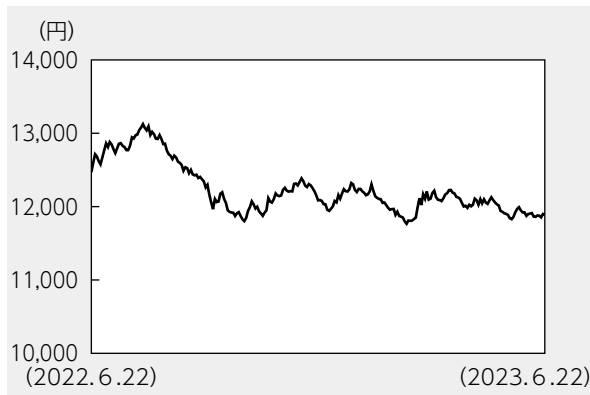
(注6) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注7) 国別配分は発行国(地域)を表示しています。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【為替フルヘッジ外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド】（計算期間 2022年6月23日～2023年6月22日）

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

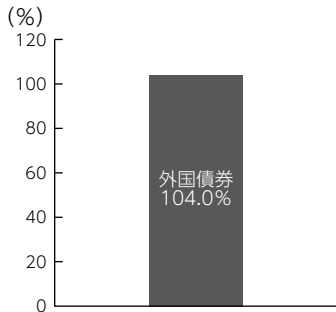
銘柄名	通貨	比率
US T N/B 1.125 02/15/31	アメリカ・ドル	1.4%
US T N/B 0.875 11/15/30	アメリカ・ドル	1.3
US T N/B 1.5 02/15/25	アメリカ・ドル	1.1
US T N/B 3.5 02/15/33	アメリカ・ドル	1.0
US T N/B 4.625 02/28/25	アメリカ・ドル	0.9
US T N/B 4.125 01/31/25	アメリカ・ドル	0.8
US T N/B 2.625 03/31/25	アメリカ・ドル	0.8
US T N/B 3.125 08/31/29	アメリカ・ドル	0.8
US T N/B 2.0 02/15/25	アメリカ・ドル	0.8
US T N/B 1.75 03/15/25	アメリカ・ドル	0.8
組入銘柄数	564銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

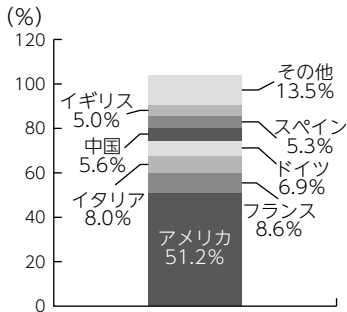
項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	3円	0.020%
(その他)	(2)	(0.019)
	(0)	(0.001)
合計	3	0.020

期中の平均基準価額は12,232円です。

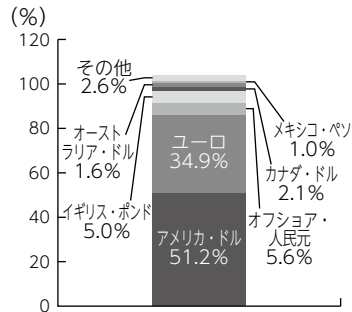
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注6) 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行っています。

(注7) 資産別配分、国別配分、通貨別配分については、現金等を考慮しておりません。

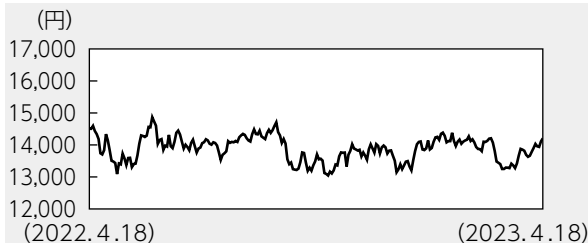
(注8) 国別配分は、発行国（地域）を表示しています。

(注9) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【エマージング株式パッシブ・マザーファンド】

(計算期間 2022年4月19日～2023年4月18日)

◆基準価額の推移

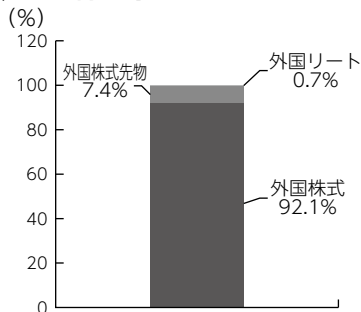


◆1万口当たりの費用明細

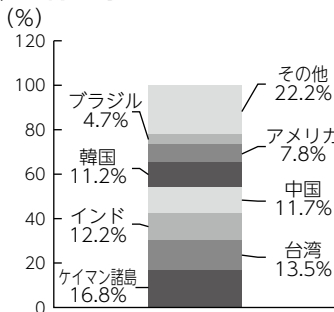
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	8円	0.057%
(株式)	(5)	(0.039)
(先物・オプション)	(2)	(0.018)
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)
(投資証券)	(0)	(0.000)
(b) 有価証券取引税	8	0.061
(株式)	(8)	(0.061)
(投資信託受益証券)	(0)	(0.000)
(投資証券)	(0)	(0.000)
(c) その他費用	24	0.176
(保管費用)	(23)	(0.166)
(その他)	(1)	(0.010)
合計	41	0.294

期中の平均基準価額は13,878円です。

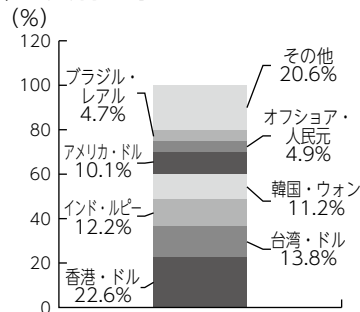
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもです。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分は、発行国(地域)を表示しています。

(注6) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注7) 資産別配分、国別配分、通貨別配分については、現金等を考慮しておりません。また、国別配分、通貨別配分については、現物と先物の比率を合計して表示しています。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

◆組入上位10銘柄(現物)

銘柄名	通貨	比率
TAIWAN SEMICONDUCTOR	台湾・ドル	5.9%
TENCENT HOLDINGS LTD	香港・ドル	4.1
SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国・ウォン	3.3
ALIBABA GROUP HOLDING LTD	香港・ドル	2.5
RELIANCE INDUSTRIES LTD	インド・ルピー	1.2
MEITUAN	香港・ドル	1.2
CHINA CONSTRUCTION BANK	香港・ドル	0.9
VALE SA	ブラジル・レアル	0.8
HOUSING DEVELOPMENT FINANCE CORP	インド・ルピー	0.8
ICICI BANK LTD	インド・ルピー	0.8
組入銘柄数	1,364銘柄	

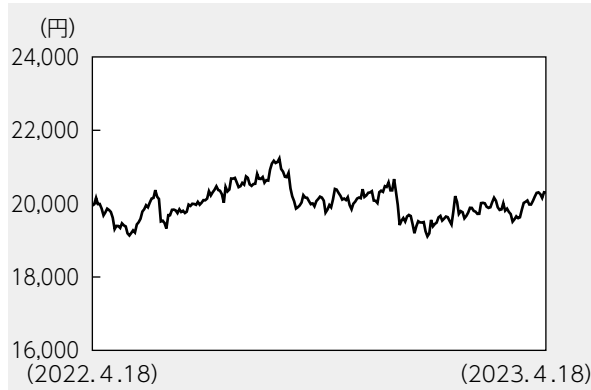
◆組入上位銘柄(先物)

銘柄名	売買	比率
MINI MSCI EMG MKT	買建	7.4%
組入銘柄数	1銘柄	

【エマージング債券パッシブ・マザーファンド】

(計算期間 2022年4月19日～2023年4月18日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

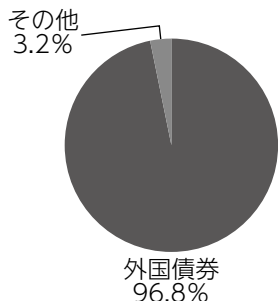
銘柄名	通貨	比率
DOMINICAN REPUBLIC 6.0 02/22/33	アメリカ・ドル	1.9%
SAUDI INTERNATIONAL BOND 4.375 04/16/29	アメリカ・ドル	1.9
DOMINICAN REPUBLIC 5.5 02/22/29	アメリカ・ドル	1.8
STATE OF QATAR 5.103 04/23/48	アメリカ・ドル	1.6
OMAN GOV INTERNTL BOND 6.0 08/01/29	アメリカ・ドル	1.6
STATE OF QATAR 4.817 03/14/49	アメリカ・ドル	1.6
DOMINICAN REPUBLIC 5.875 01/30/60	アメリカ・ドル	1.4
ROMANIA 7.125 01/17/33	アメリカ・ドル	1.4
STATE OF QATAR 3.4 04/16/25	アメリカ・ドル	1.4
PERU 2.783 01/23/31	アメリカ・ドル	1.4
組入銘柄数	132銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

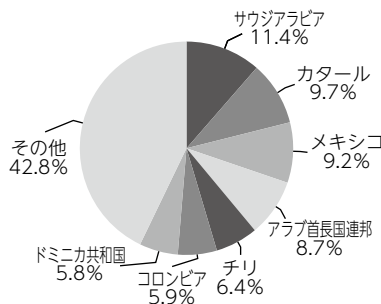
項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用 (その他)	3円 (3) (0)	0.013% (0.013) (0.000)
合計	3	0.013

期中の平均基準価額は20,011円です。

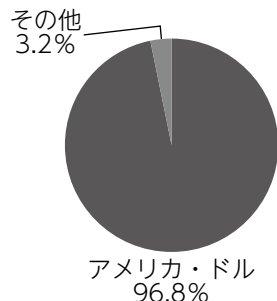
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

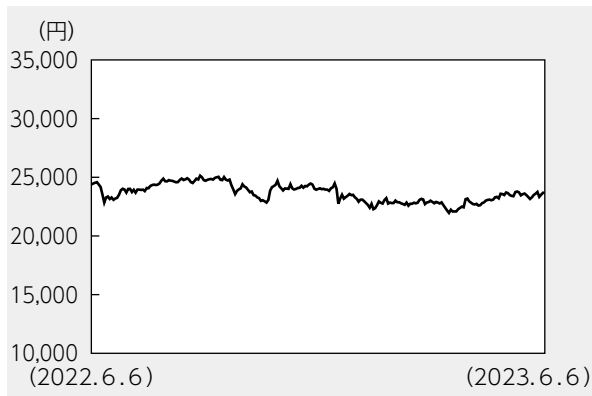
(注5) 現金等はその他として表示しています。

(注6) 国別配分は、発行国(地域)を表示しています。

(注7) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【J-REITインデックスファンド・マザーファンド】 (計算期間 2022年6月7日～2023年6月6日)
 ◆基準価額の推移 ◆組入上位10銘柄 (現物)



銘柄名	通貨	比率
日本ビルファンド投資法人	日本・円	6.0%
ジャパンリアルエステイト投資法人	日本・円	5.0
日本プロロジスリート投資法人	日本・円	5.0
野村不動産マスターファンド投資法人	日本・円	4.9
GLP投資法人	日本・円	4.6
日本都市ファンド投資法人	日本・円	4.6
大和ハウスリート投資法人	日本・円	4.1
オリックス不動産投資法人	日本・円	3.3
アドバンス・レジデンス投資法人	日本・円	3.3
ユナイテッド・アーバン投資法人	日本・円	3.0
組入銘柄数	60銘柄	

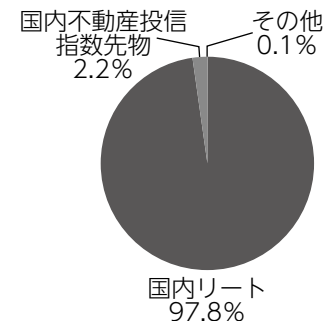
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション) (投資証券)	0円 (0) (0)	0.001% (0.001) (0.000)
(b) その他費用 (その他)	0 (0)	0.000 (0.000)
合計	0	0.001
期中の平均基準価額は23,630円です。		

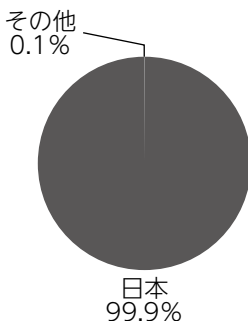
◆組入上位銘柄 (先物)

銘柄名	売買 買建	比率
東証REIT		2.2%
組入銘柄数	1銘柄	

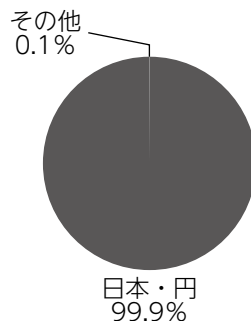
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分

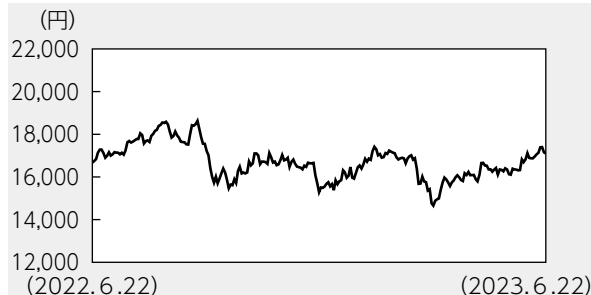


- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので、
 (注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書 (全体版) をご参照ください。
 (注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
 (注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
 (注5) 国別配分、通貨別配分については、現物と先物の比率を合計して表示しています。
 (注6) その他は、純資産総額を100%として、現物と先物の比率を差し引いたものです。
 (注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書 (全体版) に記載されています。

【外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド】

(計算期間 2022年6月23日～2023年6月22日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

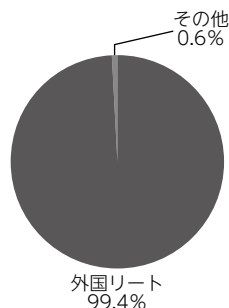
銘柄名	通貨	比率
PROLOGIS INC	アメリカ・ドル	8.8%
EQUINIX INC	アメリカ・ドル	5.6
PUBLIC STORAGE	アメリカ・ドル	3.6
REALTY INCOME CORP	アメリカ・ドル	3.2
WELLTOWER INC	アメリカ・ドル	3.1
SIMON PROPERTY GROUP INC	アメリカ・ドル	2.8
VICI PROPERTIES INC	アメリカ・ドル	2.5
DIGITAL REALTY TRUST INC	アメリカ・ドル	2.4
AVALONBAY COMMUNITIES INC	アメリカ・ドル	2.1
GOODMAN GROUP	オーストラリア・ドル	1.9
組入銘柄数	324銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

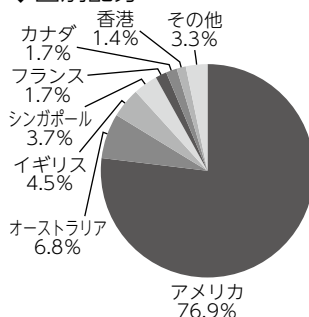
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資信託受益証券) (投資証券)	3円 (1) (3)	0.019% (0.003) (0.015)
(b) 有価証券取引税 (投資信託受益証券) (投資証券)	7 (1) (7)	0.044 (0.003) (0.041)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	9 (9) (1)	0.057 (0.053) (0.004)
合計	20	0.120

期中の平均基準価額は16,690円です。

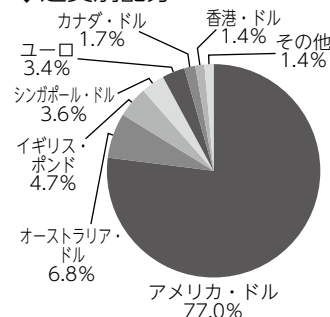
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。
- (注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
- (注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
- (注5) 現金等はその他として表示しています。
- (注6) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。
- (注7) 国別配分は、発行国(地域)を表示しています。
- (注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

